

# ネイチャーウォッチングだより

令和4年11月30日(水)

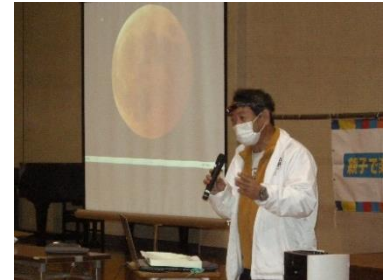
愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

本年度Bグループ最後のネイチャーウォッチングとなる「星空ウォッチング」を、11月27日(日)の夜、岡崎少年自然の家で開催しました。幸い好天に恵まれ、日が暮れると晩秋の星々が姿を見せ始めます。木星や土星などの惑星も輝きを増し、天体望遠鏡による観察に期待が膨らみました。

開催地の岡崎少年自然の家は、市の北東部にあって街明かりの影響が少なく、天体観測所も備えています。屋上には2台の大型天体望遠鏡を設置することができ、収納庫には十台ほどの移動可能な天体望遠鏡が保管されています。できるだけ参加者の皆さんに操作しながら観察していただこうと、これらの天体望遠鏡をすべて広場に並べました。

今回は、26家族88名の皆さんが参加されました。初めに体育館で日本天文学会の藤井哲也先生から星の話を聞きました。まず、先日観察された皆既月食と天王星食について、先生が撮影した写真を使って解説されました。参加された皆さんの多くがこの皆既月食を見たことと答え、関心の高さを改めて感じます。日本人宇宙飛行士の若田光一さんが現在滞在しているISS(国際宇宙ステーション)の話やこの日の夜に見える星空、とくに土星や木星、火星についての解説もされました。木星には4つの子ども(衛星)がいること、土星には輪があること、火星には模様や北極に白い氷(ドライアイス)が見られることなど、興味深い話を聞くことができました。



天体について解説される藤井先生



「土星の輪も見えるよ！」

さらに、これから起こる天体イベントについての解説もありました。12月1日には火星が地球に大接近し、12月14日には「ふたご座流星群」が見られます。そして、2035年9月2日には日食があります。関東地方から石川県にかけては皆既日食になるそうです。これは見逃せませんね!

続いて、天体観察です。グループごとに移動しながら、広場に並んだ天体望遠鏡と藤井先生が用意された天体望遠鏡、屋上の天体望遠鏡で木星や土星などを見ました。土星の輪や木星の衛星をはっきり見ることができ、あちらこちらから感動の声があがり、主催者として嬉しく思いました。このほか、赤っぽく見える火星、夏の大三角(こと座のベガ<織姫星>、白鳥座のデネブ、わし座のアルタイル<彦星>)、カシオペア座と北極星、おうし座のスピカ、ぎょしゃ座のカペラなど、多くの星たちを観察することができました。それらの解説にも納得させられ楽しい観察会になりました。

最後に、皆さんの感想の一部を紹介します。

これまでも星はきれいだなと思っていましたが、望遠鏡で木星の衛星まで見えてさらにきれいだなと思いました。(子)

短い時間でしたがわかりやすく面白い説明で今までより星や惑星に興味をもつようになりました。楽しかったです。(母)

夜空を見ながら説明を聞いたのは初めてでとてもわかりやすく楽しかったです。藤井先生のユーモアが織り混ざったお話もとても印象的でした。(父)

とてもたのしかった。土せいになんかわかっているのははっきり見えたし、木せいとまわりの4つのこどもも見れたのがよかった。(子)

先生の話もとても面白く、もっと天体のことを知りたいなと思いました。子どもも夢中で天体望遠鏡をのぞいており、終わってからももっと見たかったと何度も言っていました。貴重な体験を本当にありがとうございました。(母)



「星空ウォッチング」に参加された皆さん